臺灣日日新報 昭和十一年十二月十三日 （第二版）（京城配達）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）

御退位宣言法案
英國議會で可決
新帝御即位布告を
樞密院はけふ承認

【ロンドン十二日發同盟】十二日の英國下院は午前十一時再開、議會を通過したエドワード八世陛下御退位宣言法案を上院へ送附した。上院も即日午後一時二十分同案を可決、陛下の裁可を經たので、茲に於て御退位の詔勅が發布された。時に午後一時五十二分（英國時間）茲に於てエドワード八世陛下は正式に御退位遊ばされ一平民となられ同時に新帝陛下の御代となつた。陛下は十

【ロンドン十二日發同盟】十二日の英國下院は午前十一時再開、二日午後二時四十五分散會、全會一致を以て新帝陛下に對し奉り忠誠を誓ふ事となつたが、一方樞密院は午前十時御會、新帝御即位布告に承認を與へる筈定である

新帝の御稱號

【ロンドン十二日發同盟】英國新帝陛下ジョージ六世陛下の御新號を奉びさせられる筈に公式に發した

支那、賠償拒否か
上海、漢口のテロ事件
居留民間に強硬意見

【上海十二日發同盟特派員發】抗日テロ團體の內部的對立から惹起された上海邦人射殺事件は、犯人の一味が捕縛されるに及んで、犯人側の自白により、事件の眞相が明かとなつた。即ち犯人は抗日團體の一つである中華民族解放先鋒隊の隊員であつて、上海市長吳鐵城暗殺の目的を以て、十一月十日上海に潛入したが、吳市長の暗殺に失敗したので、その代りに邦人を狙撃したものであることが判明した。

【上海十二日發同盟】抗日テロ團體の內部的對立から惹起された上海邦人射殺事件は、犯人の一味が捕縛されるに及んで、犯人側の自白により、事件の眞相が明かとなつた。即ち犯人は抗日團體の一つである中華民族解放先鋒隊の隊員であつて、上海市長吳鐵城暗殺の目的を以て、十一月十日上海に潛入したが、吳市長の暗殺に失敗したので、その代りに邦人を狙撃したものであることが判明した。

【南京十二日發同盟】國民政府外交部は十日の我が外務省の日支交渉に關する聲明を重視し、一切の事實を擧げて嚴重抗議を提出すると共に、これが賠償を要求中であるが、十日夜發の形式を以て次の如き聲明の發表を見た

日本外務省の聲明中關係の深い第八項の日滿華三國間の協力共同防共の問題については支那側に於ても異存なきも、その實現は支那の主權を侵害するものであつてはならぬ

我聲明を掲載禁止
國府が反駁的聲明

【南京十二日發同盟】國民政府外交部は十日の我が外務省の日支交渉に關する聲明を重視し、一切の事實を擧げて嚴重抗議を提出すると共に、これが賠償を要求中であるが、十日夜發の形式を以て次の如き聲明の發表を見た

日本外務省の聲明中關係の深い第八項の日滿華三國間の協力共同防共の問題については支那側に於ても異存なきも、その實現は支那の主權を侵害するものであつてはならぬ

歷史的事實が證されてゐる凡ゆる證據に從つて正當な解釋である、支那としては日本の何等干渉を容るべきものでない、支那としては日本の合法的要求に對しては誠意を以て應ずるやうに努めてゐるが、それより以上の事は絶對に出來ない、支那としては日本の要求を容れることは國家の滅亡を意味するものである、日本側では支那側の誠意を認めないと云ふが、元來支那には排日教育なるものはない、即ち教育面で「排日」といふが事實無根なるものである、從つて

流暢なアクセントで 天晴れ國語の競演

第二十三回全島國語演習會 けふ新竹市で開催

【新竹特電】官製教育普及徹底二十三回全島國語演習會は十三日午前九時より新竹小学校講堂に開催、總督府より島田叡教育課長、渡邊學務課長、渡多野、關野、井上三視学官、北学務課長、池田、内藤、小林各学務課長、全島國語教師、生徒二百名、公学校児童二十名、蕃語教師、生徒二十名、公学校児童二十名、計百二十八名、審査員として國語學者、教育者、官吏、教員等約九十名及び高田総督、國歌合唱、開會の辞につゞき島田教育課長より本會開催の趣旨説明あり、次に各審査員の紹介あり、次に各学校児童の國語演習に入つた、意外の新小学校児童の熱心な國語に感激、關係者一同感激の涙を流した、次に蕃語演習に入つたが、蕃語教師、生徒の國語は内地人の國語と少しも變らぬ立派なもので、一同驚嘆の声を放つた、次に各学校児童の國語演習に入つたが、内地人の國語と蕃語教師、生徒の國語とは

御殿山中

(129)

(最上映)

邦枝完二作

神保朋世画

闇の庭(十二)

「闇屋。——しっかりおしなさい。」

その時、父の膝の上に寄しかかりつづけた庄吉は、闇の中からかうさう言って二度ばかりまさにその父の最後の言葉が聞かれると同時に、すぐりと闇の中に投げ出されたやうに暗上におろされた。

「しっかりおしなさい。」

それは闇屋の膝を含んだ声だった。

「降りてもらひやう。」

「チェッ。」

「いくらおめくれが呼んだつてお闇さんは疾くの昔に別の道へ行つちまつてるんだから、帰つて来る筈がねえよ。」

「闇屋。——しっかりおしなさい。」

「おめくれが呼んだつてお闇さんは疾くの昔に別の道へ行つちまつてるんだから、帰つて来る筈がねえよ。」

はじめて聞く声と共に、二人の闇屋の前には、二人の闇屋に似た声の前には、二人の闇屋にかせやうに突ひながら立つて居た。

「今度こそ降りてもらひやう。」

「チェッ。」

「いくらおめくれが呼んだつてお闇さんは疾くの昔に別の道へ行つちまつてるんだから、帰つて来る筈がねえよ。」

はじめて聞く声と共に

酒稅課稅制度變更
細目決定稅率未決

東京十二日電。大藏省、倉課稅制度。至出倉翌月末納稅。(乙)在同一稅務署。同一人所營範圍內。仍未納間。課酒類移轉。一、外國輸出品。改返稅主義。(甲)改正現在法定納期制度。採用出製造酒類。課新稅率。

一、酒酒混和甲、限制清酒及二類清酒。今後認兩者混和。乙、稅率適用期。明年四月一日以降

一、改徙量主義。爲實質主義。採川免許制度。但小賣店。飲食店等直接消費爲目的者除外。

(乙)認現在販賣者既得權明年四月中。則要屆出。

一、出倉課稅（甲）改正現

清算取引現物取得者
課有價證券移轉稅

東京十二日電。大藏省。十一日在省議。決定株式取引所。清算取引期滿。現物授受之時。現物取得者。課與一般實買同率之有價證券移轉稅。

日濠通商狀態復舊
發妥協案承認回訓

東京十二日電。拂村年總領事。時節八十萬俵妥協案之訓令。外務商工兩省。十一日協議結果。決定承認

連夜將情訓。電訪之今後貿商。技術的折衝善處。於是半年日濠交涉告終。而見圓滿妥結。我方通商擁護。漆毛小麥輸入許可制。決定撤回。濠洲新開税改正。特別輸入許可制解除。日濠通商狀態。均擬恢舊云。

英國新帝陛下
御稱號喬治六世

倫敦十二日電。英國新帝陛下。稱喬治六世陛下。公式確言云。

御即位宣言法案
英兩院正式可決

倫敦十二日電。十一日英國下院。午前十一時再開。上程十日第一讀會通過。愛德華八世陛下御退位宣言法案。審議結果。午後一時二十分可決。直送上院。上院亦僅十五分可決。經陛下御批。議會書記官。於上院將御批之旨。朗讀宣言之時。同一時五十二分（臺灣時間午後九時五十二分）八世陛下。正式御退位。爲一平民。議會十二日午後二時四十五分開會。全議員嚴禮。對新陛下。宣誓忠誠。二面稱密院。午前十時開會。承認新皇帝御即位布告云。

須磨高兩氏會談
交涉地方事件

南京十二日電。須磨總領事。高亞洲司長第三次事務折衝。十二日午後三時。決定以成都事件。豐各地發生不幸事件爲首題。積行細目交涉云。

臺南州來年度豫算
要求額多至千萬圓

新規事業費四百萬圓

臺南州。明年度豫算。經地削除。此當期待新知事之裁斷云。

在庫米減
米價急崩

連日圓糯多配出

最近兩三日來。十二月十二日稍圓糯。極力載往內地。每日出庫五六萬袋。而入庫僅二萬袋以內。以故基隆在庫米日減。十一日現在四萬四千餘袋。十二朝又減至三萬六千四百七米。漏十五米（從前漏八米）。及自運動場入口至觀測所前。長二百七十七米。漏八米。自參宮道路至飛行場。長百三十五米。共爲三條。其第一條袋以舊道擴張。第二三條。均爲新壓之路。按至明春三月中。全部竣成

不以在庫米之多寡爲低昂。十六七錢。一月二十日限近因內地買氣停頓。雖連日在庫。漸減漸減。而圓糯米慨却日趨下。去十一日前場軟勢之來。出場後逐漸落。入夜買賣盛以受米亦必賤賣於移出商。不如解消之爲愈。故聯盟頗有應時轉賣。紛々投出。十五日限價忽落至十圓四十八九錢。十二朝場外病廉。價十圓四十二三錢。十二月二十日限小落至十圓三十六七錢。一月二十日限

北州圓糯登市太遲
受檢查米僅二萬袋

鴛北州下二期圓糯米。陸續登市。而不過十分。即二萬袋。目下每日受檢僅千餘袋而已。全體二等合格八成。四等二成。就中鴛歌山子脚兩處成績甚佳。每日出米七八百袋中。二等米多至九成五分以上。四等米僅五分。淡水方面最不良。二等約半數。州下成績。初頭惡劣甲總爲害幸得豪雨。自然沈陰。三

嘉義刑務所
自動車傷人

嘉義市北門町中山辯護士車夫侯金集。年三十四。去十一日午前十一時許。乘自轉車。向公園方面至宮前町七丁目。欲南折橫路。值刑務所專用南九九九號之自動車。由背後撞倒。金受顱頸部。受輕傷。治療四週間云。

臺南市北門町火災

幸近附石油庫得極力防

宜蘭忠靈塔
石燈工事

按近日中竣功

宜蘭公學校兒童及青年團爲獻納宜蘭公園內。忠靈塔之石燈籠。自十一月國慶。各團接受許多陳情。殊爲可喜。

海外發展
必要統制

總督于前雄州下巡畢後。十二日午後四時。在市公會堂。招待州下官民二百餘名。開茶話會。總督席上敘禮。略謂民之積極的熱忘及機運。適合高雄州爲臺灣重大使命之兩方經濟發展據點。其覺可喜。各地所受陳情。歸廳後。徐與責任者接洽。必要者使之實現。且要積極進取若迫于慎重若老成人。反逸機宜。然如海外發展對外問題。必要統制。積極進取。亦有相對之點。內海知事。亦爲善處。積極論固佳。然希望于統制下活動之也。其對於是內海知事。代表來賓謝謝意歡至五時許散會。

今度は探偵漫畫
チヒタン、チビスケ

河盛久夫先生の力作

お得意漫畫の綴じ物です。河盛先生は「タンカラ節ちゃん」や「日の丸探偵局」で、皆さん方とは既におなじみ深いお方ですが、愈々この二月で五十回でおしまひになりました。何しろ皆さんの一番日のお楽しみの「チビ助とチビ平」は、大變な評判で、方々から山のやうな投書がまつてをりますが、最後の五十回でおしまひになりました。何しろ

てゐらつしやいましたが、その中訳にこんと面白い、素敵な漫畫を書いて御無沙汰のつぐなひをしやいますから、どうぞお楽しみにお待ち下さい。

作者の言葉

河盛久夫

やうやう一息ついたと思ひきや、もう締切日の足りないところは頭で行かうといふ氣持がチビ探偵のチビ助君が、果してどんな大手柄を立てるか、自分達から見ひ付いて騒み出した。新聞の漫畫は、河盛久夫先生が、お得意中の「ラクガキ」の手法でのびのびと描いてゐるのです。ところで、この次の漫畫は、河盛久夫先生が、お得意中の「ラクガキ」の手法でのびのびと描いてゐるのです。と

考察臺灣全體
俟與當局接洽施設

總督總括的巡視感想

小林總督。巡臺。高雄爲最後。總括的巡視感想談如左。

一、視察臺南州下。於初回巡視新竹臺中。臺南三州。此次除澎湖而外。遍觀西中部時。其發達狀態。有如五十年後之感。而東海岸。則似接見二十年至十五年前之狀態。又觀西南部之高雄州。如接見二十年至三十之青少年。要之中部西海岸。元係最地帶。臺灣產業之大宗。爲農產業。故臺中臺南。頗見進境。東部自前雖有開發計畫或希望。因無其火。金融全體稍形緩和。期待將來。高雄港將來。未可逆睹。高雄州之人。以同港之施設遲緩。有如小兒漸長大。致力開發最少年之來部。致力開發。

惜東部方面。不事天惠。又臺南臺中。仍須指導。蓋尚有未周之處。宜力對此方面開發。相信地人諸商店。聯合期彩。已自去十日起。開始抽籤。自期至夜。抽籤者無遠慮全體福利。無爲地方的拘。而考慮其急要者。

臺南州來年度豫算。要求額多至千萬圓以上。比本年度實行豫算之五百二十萬圓。稱未曾有激增。新規事業中。土木課之所。要求額。多至千萬圓以上。比本年度實行豫算之五百二十萬圓。稱未曾有激增。新規事業中。土木課之所。要求額。多至千萬圓以上。比本年度實行豫算之五百二十萬圓。稱未曾有激增。新規事業中。土木課之所。

臺南州。明年度豫算。經地削除。此當期待新知事之裁斷云。

宜蘭街市區改正
去十一日舉起工式

至明年三月先鑿三道

宜蘭街市區計畫中。自臺銀前至宜蘭橋間。乃該街之心臟部。擬先著手擴張。此區本年度分第一次計畫。經於昨十二日午前十一時起。在該街北門運動場。故基隆在庫米日減。十一日現在四萬四千餘袋。十二朝又減至三萬六千四百七米。漏十五米（從前漏八米）。及自運動場入口至觀測所前。長二百七十七米。漏八米。自參宮道路至飛行場。長百三十五米。共爲三條。其第一條袋以舊道擴張。第二三條。均爲新壓之路。按至明春三月中。全部竣成

員林郡壯團
本日檢閱

員林郡下壯丁團檢閱。訂本十三日。開於員林公學校運動場。要參加人數爲員林團七十一名。東山團五十名。柴頭井團六十名。社頭團六十八名。許厝寮九十八名。溪湖團九十三名。嵜子脚團六十一名。大村團五十三名。蓮花池團五十名。同安宅團六十八名。坡心團六十名。舊團六十一名。大村團五十三名。蓮花池團五十名。同安宅團六十八名。溪湖團九十三名。嵜子脚

朝日新聞

決戦の大空へ

神鷲の忠烈に応へん

陸軍航空大増強

米英撃滅の陣固し

翼の生産

飛躍的に拡充

空の精鋭

続々と誕生

陸軍記念日

特別大演習

陸軍大臣告諭

陸軍大将

杉山元

陸軍大臣

東條英機

陸軍中将

飯村穣

陸軍航空本部長

陸軍中将

安藤紀三郎

陸軍航空総監

陸軍中将

河田烈

陸軍航空審査部長

陸軍少将

吉井博

陸軍航空技術廠長

陸軍少将

岡本清福

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

尾上柴舟

陸軍航空本部教育部長

陸軍少将

佐々木信綱

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

田北

陸軍航空本部技術部長

陸軍少将

加藤建夫

陸軍航空本部教育部長

陸軍少将

吉田喜重

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

松村秀逸

陸軍航空本部技術部長

陸軍少将

飯久保昭

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

土屋文明

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

比江島重孝

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

佐々木信綱

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

田北

陸軍航空本部技術部長

陸軍少将

加藤建夫

陸軍航空本部教育部長

陸軍少将

吉田喜重

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

松村秀逸

陸軍航空本部技術部長

陸軍少将

飯久保昭

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

土屋文明

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

比江島重孝

陸軍航空本部総務部長

陸軍少将

尾上柴舟

陸軍航空本部教育部長

陸軍少将

吉井博

膠服著しき 輸入貿易 對外貿易の 不振は遺憾

一

近年わが台灣の貿易額は島内一般經濟の反映して隆昌しいものがある。昭和八年頃迄の四億台から昨年には六億二千二百万円と飛躍、本年は更に七、八千万円の増加が見込まれ或は七億台の壁を突破せんかとの觀測すら行はれる程であるとは実に慶賀に堪えない次第である。然るに此の島の産業経済の進展發展を反映するに外ならないから、茲に一層注意を拂ふべき傾向と看做すべきは

二

貿易額増加の原因は、本年一月以降十二年末迄の台灣内外貿易總額は、億二千四百万円に達し、前年同期に比し五千九百万円の増加、殊に輸移出額は百万円以上の増加であるから、全く激甚にて本島内外貿易額四億に倍加して居ると、外國貿易に於て、十一月末累計の輸出額は二千五百九十六万円、輸入は四千二百五十五万円の入超、内地貿易は移出(億二千二百四十七万円、移入(億二千二百八十五万円で九千九百六十四万円の出超である。而してこれを前年同期の額に比べてみると輸出では七百五万円を減じて、移入は四百七万円を増して、差引き一千八百七十二万円の出超減少である。

三

以上の如く本年貿易は總額に於て非常な膨脹であり、而も内外貿易の躍進内入超額に於ては八千二百六十万円からの出超を示げるが、之を内容に亘り考察する時、概に好調視するを許さぬものがある。即ち前年同期の約倍に比し、輸出は三割二分の増加に過ぎないわけである。之れ如何に来、移出の内容と言へば一般移出商品の殆んどが、移入は前年より二千二百万円から三千百七十億万円を増加してゐるから、米穀以外の移出は前年に比し僅か七百六十万円

臺北に開設された市民農園（上）

園藝全般について　市民のための相談相手

日増しに都会の業務に追はれてゐる都会人はその反面に於て大なる農村への憧れをもち都会無味な生活に一服の清涼剤をひみとニトリを得かねばならぬこの意味に於て本年二月十八日から台北市大稻埕公園の緑樹に囲まれた台北市民農園は市民のオアシスともいふべき使命を以て生れたのである。この市民農園の事業内容は花卉、蔬菜、果樹、蔬菜など園藝一般に亘つて市民一見

太島に於ける火保事業は年々順調に発展し契約件数も増加する一方であるが、之れと共に内地保険会社の本島出張員は一層多く各庁間に駐在化料率低下と逓減不利益に陥り立行かなくなつたので昨年関係会社は相謀り料率の協定引上げをなすに至つたのであるが、本島には台北に本店を置く大成火災からの申込は公有物件の保険契約の為め直ちに本店と契約を締結されてゐる為め他の会社にも同様の取扱をなすに至つた

大成火災

島内一社に偏する公有物件の保険

内地火保十三社より均霑方を督府へ陳情

内地火保会社側では台湾に於ける火保事業は其の収支共に好成績を挙げ居るにも拘らず同じく帝国の領土たる台湾に於て島内官庁なるが故に総て内地に保険契約を強ひられるのは不当であるとして十三社は連合して去る十一月十日総督府に陳情書を提出し其の善処方を懇請するに至つた

台湾に於けるキナ栽培は官営の下に明治三十年頃より着手され爾来三十有余年の歳月を経過し其の間幾多の変遷を経て来たが現在に於ては台湾の主要産業の一として内地は勿論海外にまで其の名声を博するに至つた

星氏を圍んで　キナ座談會

南米と臺灣の開拓計畫

臺銀小異動

台銀に於ては今回左記の通り異動を行つた

▲本店配属　理事　星　一
▲台北支店長　鈴木　亜
▲台南支店長　鈴木　亜
▲台北支店庶務課長　菊地　左二
▲本店配属　秘書役　秀助

二期標準米の展示會盛況

高雄十號特に評判よし

台湾米穀移出米の内地宣伝のため台湾初めての試みとして二期標準米を携行して内地へ出張した米穀の一部出張所長からの入電（十日）によれば

東京深川に於ける標準米の展示会を開催せり（午後四時から同七時迄）参観者は深川、神田川の移入、精米、小売業者の外約八十名程で盛会裏に終了せり、先方の希望としては米の増加、サビ米、異物混入の除去、一期産の標米の注意、時期機資資金の統一助長等にして高雄十号、新竹一号、台中六十五号、嘉義一号、台南十一号、花蓮港一号の六種に対し堀内氏より爪哇の生産額及びギナに代らるべき成分の説明に対し質疑あり十一時散会したる由

二期丸糯米　四十萬袋を移出

前年より十萬袋減　十日積迄の調査

大日本人造肥料会社が日本窒素系の台湾肥料会社が何うなるかといふことは一般の注目するところであるが、同社は資本金一百万円内拂込済八十三万八千七百五十円にして五千四拂込済の普通株一万株と八割までは成人との契約による優先株四千二百株据置配当年六分、後配当年五分、優先株八分で総株数五万株の内、大日本人肥が優先株六千株と普通株一万株とを引受け其の外は一般株主に割当てたが、本島には台北に本店を置く大成火災からの申込は公有物件の保険契約の為め直ちに本店と契約を締結されてゐる為め他の会社にも同様の取扱をなすに至つたのである